

モリメイトの里山づくり

# モリメイト通信

発行2024年 11月30日

通算 269号

三重県上野森林公園モリメイト

本気で遊ぼう！モリメイト

## 11月7日(木曜日)クヌギの植樹を広げたい「名張育成会」の方来訪

【参加者:池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中

計10名】



名張でドングリから育てたクヌギの植樹を広げていきたいという「名張育成会」の二人の方の訪問を受け、クヌギの植樹地、ビートルズベッド、クヌギのひこばえ、スギ・ヒノキの林などを案内した。作業にも少し参加してもらった後、モリメイトの取り組みなどを話し、クヌギのドングリを持って帰ってもらった。

## 「くぬぎの森づくり」の準備を終える



再度草刈りをして植樹地を整備



植樹した苗木に付ける名札の準備  
絵や名前が書きやすいように白のペンキを塗る



ビートルズベッドの腐葉土の草や枝を取り除ききれいにする



「くぬぎの森づくり」の看板を設置

設置完了



# 11月10日(日曜日) 「第10回くぬぎの森づくり」開催

【参加者:池本、浦野、越智宏、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中 計10名】

曇り空の朝であったが、植樹をする頃には小春日和の穏やかな天気にも恵まれ、第10回「くぬぎの森づくり」を開催することができた。(コロナで1回開催できなかったのが今年が記念すべき10回目となる)

森林公園の一部に里山の景観を取り戻そうと2003年からクヌギの植樹を始め、2014年からは「くぬぎの森づくり」と名付けイベントとして行っている。今年は、6家族20名が参加しクヌギの植樹を行った。

ビジターコテージで「モリメイトの活動の様子」や「クヌギの木とドングリ」の話聞いた後、森林公園内を散策しながらモリメイトフィールドへ向かった。



モリメイトが苗木の植え方を、東工コーセンの井上さんが獣害対策のための幼齢木ネット(トウモロコシで作られ自然に帰る)の付け方を説明してくれた後、植樹に取りかかった。

一人でできる

苗木が動かないように土を踏んでおこう



つけるのちょっと難しかったね

ドングリは3cmぐらいの深さに植えるんだね

穴を掘ってそっと植えるよ

ぼくが土をかぶせるよ



植樹後、家で苗木を育てるためにビニールポットに腐葉土を入れて、クヌギのドングリを植えた。子どもたちの満足そうな笑顔で「第10回くぬぎの森づくり」を無事終えることができた。

# 11月14日(木曜日) **ビートルズベッドの補修を終える**

【参加者;池本、越智宏、梶川、木谷、杉、鈴木哲、鈴木明

計7名】



カブトムシの森へ向かう散策路の木々も色づき、落ち葉も舞い始めた。

新しく落ち葉を入れるために腐葉土をすべて袋に入れて片方のビートルズベッドを空にした。公園内の花壇や木の根元に置く予定である。



いよいよ、ビートルズベッドの補修である。

まず、枠の古くて腐食していた丸太と、まだ使えるのを確認するため、横木をすべて外した。次に、杭を2本ずつ立て、その間に5mに切った丸太を5~6本積んでいった。その後、2本の杭を番線で止めていき、チェーンソーで杭の高さを揃えた。かなりきつい作業だったので、また来週に持ち越してもいいかと話していたが、昼食を済ませた後、みんなやる気満々になり、一気に仕上げることができた。

これも、材料の切り出し、皮むき、ビートルズベッドすぐ脇への丸太の移動とこれまでの段取りがあつてこそであると思う。



# 11月21日(木曜日) **枯れマツの除伐とひこばえの整理**

【参加者;池本、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田

計9名】



# 11月28日(木曜日) **落ち葉を探し落ち葉掻き**

【参加者;浦野、梶川、木谷、芝田、杉、鈴木哲、鈴木明、中、濱田

計9名】

落ち葉の時期が遅くなっているためか、昨年(2022年)の11月末に比べると落ち葉の量が少ないように感じた。ビジターコテージからサギソウ園の散策路、風の砦から5番東屋の散策路、ビジターコテージに向かう坂道が、比較的多くの落ち葉があつたので、その落ち葉を掻き集めた。

来週も落ち葉掻きをする予定である。

